

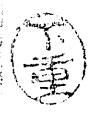
第一



第九四

第九八號

陸軍省
3.1.28
午前11時
大臣官房



36
軍事課

宇垣陸軍大將ノ來名及兵營移轉問

題ニ關スル件

昭和四年一月二十五日第三師團留守隊長官官廳

陸軍次官阿部儀行殿

首題ノ件ニ付別紙ノ通通報ス

宇垣陸軍大將ノ來名及兵營移轉問

陸

軍

宇垣陸軍大將ノ來名及共管移轉問題

題ノ就テ

宇垣陸軍大將ハ昭和四年一月二十四日私的旅行ノ途
次名古屋ニ泊セラル此機會ニ於テ名古屋ノ有志約
八十名名古屋ホテルニ於テ觀迎晚餐會ヲ開キ留
宇垣司令官亦之ニ列席スリ

其食卓中ハ宇垣大將ノ附近ニ知事、市長、市會
議長、留宇垣司令官、二三ノ實業家、新聞記
者等アリ食事間共管移轉問題ニ關スル談話
出テ宇垣大將ハ左記要旨ヲ断片的ニ述ヘラレタリ
一、名古屋ハ共管ヲ他ニ移スコトヲ希望スルナクハ豊橋

及其他ノ地方ニシテ之ヲ設置スルコトヲ希望スル
人多カレハシ

二師團司令部及歩兵第六師團ヲ疾置スルナラハ練兵
場ヲモ疾置セサルヘカラスハ當然ナリ故ニ兵營移轉
ハ意味ヲ為ササルヘシ

三大都市ニ相當軍隊ノ衛戍シアルコトハ事變ヲ顧慮
スルトキハ絶對ニ必要ニシテ大改ノ如キモ曾テ之ヲ郊外
ニ移サレタシトノ申出アリシモ關東大震災後之ヲ
取消シタリ横濱ノ如キ大慘害ヲ蒙リタルハ軍隊
ノ所在ト遠隔シアリタルコト其一原因ナリ

四若シ名古屋カ強テ兵營移轉ヲ要求スルナラハ余ハ

根コソキ他ニ移轉スヘキコトヲ其筋ニ勸メムトス

五、名古屋ノ繁栄ノ中心カ逐次南方ニ移リツツアルハ自然ニシテ北部ハ地勢上大ナル繁栄ヲ望ムヲ得ス從

テ兵營ヲ移轉スルニ大ナル効果ナカレヘシ

六、中山ノ兵營新設當時ハ該軍隊ハ大ナル不便ヲ感シタリ 該軍隊ノ經費ハ在名古屋ノモノニ比シ多額ヲ

要セリ

以上關シ周圍ノ者何レモ之ヲ謹聽シ中ニハ大都市ニ軍隊駐屯ノ必要ナルコトニ相槌ヲ打ツモノアリ兵營移轉問題ノ氣勢ヲ殺スコトニ關シ相當大ナル効果アリタルモノト認ム

0233

心

卷九四

拝啓 年未相多リ候處益々御多様ノ段奉負候

陳者名古屋市會ノ第三師團ノ移轉問題ニ付別紙貴

覽ニ決シ候御考ニ有之候ニ御示シ被下度候

師團防空演習ノ件ハ過般拝願ノ際御話アリタル通

リ師團主力歸還後ニ於テ行ヒ度師團長ノ考ニ有之

先日軍務局長宛電報致置候就テ今後愈々實

行スル下、相必候節ハ何分ノ御配慮ヲ賜リ度豫メ

御願申上候

拜具

昭和三年三月三日 第三師團留守隊長官 島谷章

陸軍次官 所部信行殿

陸軍省 4. 1. 14. 時
新課
4. 1. 29

名古屋市會ノ第三師團移轉運動ニ関スル件

首題ノ件ニ付テハ去ル十月三十日名第一八三八号名
 古屋憲兵隊報告ノ如ク市會ニ於テ決議シタリ其
 後十二月二十四日市會議長竹中兼吉ハ師團司令部
 ヲ訪問シ留守隊司令官ニ對シ左記要旨ノ陳述ヲ爲シ
 タリ

市會議長陳述ノ要旨

一、名古屋市ハ大正七年周用ノ町村十六(人口約十六万)
 ヲ併合シ亦後是等ノ地域大ニ發展シ師團所在地
 ノ北方及西方ニ大ナル市街地ヲ生スルニ至リタリ而シテ
 當時人口約五十七八万ナリシモ十年後ノ今ヨリ於テ

約九十万ニ達セルノミナラス將來益々増加スルハ傾
向ニ在リ

是等ノ關係上當時ヨリ師團ノ移轉ヲ願ヒ出テタキ意
向市民ノ間ニ漲リ居リタリ

ニ然レトモ市ト師團トノ關係ハ從來極メテ密接ニシテ殊

ニ濃尾大震災ノ際ノ如キ師團ノ御蔭ヲ以テ市ノ安

全ヲ保テ得タル關係モアリ如何ニモ師團ニ對シテ申シ出

テ象ネタル次第ナリシカ近時益々市ノ澎漲ヲ來タスニ

至リタルヲ以テ茲ニ一度事情ヲ陳述シ置ク

三、邇般市會ノ決議後委員ヲ設ケテ更ニ具體的案ヲ

作成シ及其ノ筋ニ意見ヲ具申スル手筈ニシテ議長ハ

市會議員及新聞社等ヨリ屢々其ヲ督促ヲ受ケト
雖一度事情ヲ師團ニ陳述シタル後ニテラサレハ師
團ニ對シ禮ヲ飲クモノト考ヘ今ヨ迄差控ヘアリタリ
四、其ノ筋ニ於テ移轉ヲ詮議セラルル場合ニ於テモ市ハ市
ノ都合ノミヲ主張スル考ニアラス師團ノ方ノ御都合ヲ
モ尙ヒ相方都合良キ様致シ度考ナリ
五、以上ノ事情ヲ貴團ニ達シタルニ止マリ茲ニ留守隊司
令官ノ之ニ對スル回答ヲ要求スル次第ニアラス
右ニ對シ留守隊司令官ハ左記要旨ノ陳述ヲ為シタリ
一、市ノ經濟的關係ニ基クテ希望ハ一度之ヲ兼ハリ置ク然レ
トモ此ノ問題ハ單ニ市ノ經濟者御都合ノミニ極リテ決セ

ラルルモノニアラス全軍ノ配置ニ關係シ殊ニ師團自修ノ
 教育給養及師團ノ職員ノ生活ニモ關係スルコトナ
 市ノ都合ニ依リテ容易ニ決セラルヘキモノニアラス
 ニ貴職カ師團ニ對スル禮儀ニ意ヲ致サレタルヲ詠トス陳
 述ノ趣ハ之ヲ師團長ニ報告スヘシ
 右ニテ會見ヲ終リタリ尚會見問答中知り得タル主
 要ナル事項也ノ如シ
 一 移轉ハ各部隊東部練兵場又全部移轉スルノ
 意ナリヤ或ハ其又一部又ハ大部ヲ移轉スルノ意ナリヤハ
 目下決定シテモ今後要員ヲ設ケテ之ヲ決スル事
 等ナリ議長已テ上陸兵六師團司令部トテ兵隊六

聯隊トハ残置ヲ願ヒタキ考ヲ有ス

ニ移轉トナレハ市ハ相當ノ負擔ハ之ヲ覚悟シ在リ

ニ市長一於テモ本問題ニ付テハ同意見ナリ

本問題ニ對スル所見

本問題ハ市會カ表面拂主張スル如キ理由ニ基クモノ
ノ外名古屋市中心部ノ有力者カ名古屋市中心
カ漸次南方ニ移轉スルヲ屢々ヒ本問題ノ解決ニ依
リ之ヲ喰ヒ止ムトスル考ニモ基クヤノ疑アリ

而シテ市會議員中ニハ市民ノ有力者ニ動カサレテ中
心熱心ナラサルモ己々ヲ得ス賛成シアレ者モ相當ア
リトノモトナリ

然レトモ將來本問題ハ漸次熱ヲ加ヘ來リ陸軍ニ於
テモ具體的ニ考慮セサルヘカラサルニ至ルヘシ

師團ハ目下諸敵ノ關係ヲ考慮シテ對シ穩カニ
應對シテアリ其ノ筋ニ於テ師團カ反對ノ態度ヲ表
示スルヲ可ナリトセラルルニ於テハ其ノ理由ト手段トニ
窮スルモノニアラス